

小学校 第6学年 学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」で実施すると効果的です

【動画コンテンツ「おしえてよのなか先生(水永さん)」を用いた授業展開例】

動画コンテンツの使用に関して

動画コンテンツについて

使用する動画コンテンツは、「幸せとは何か」を宮崎県キャリア教育支援センターの水永さんにインタビューしたものです。動画コンテンツの構成は、①「自分にとって幸せとは」(最初～2分55秒)、②「可能性に満ちた社会」(2分55秒～4分40秒)、③「多様な仕事・働き方」(4分40秒～7分00秒)、④「中学生へのメッセージ」(7分00秒～9分22秒)の流れとなっており、③の部分を見聴いただくと、小学校6年生の資料として活用することができます。

授業展開におけるキャリア教育の視点

小学校6年生は、将来のことを考える大切さが分かり、憧れとする職業をもって、今しなければならぬことを考えられるようになる時期です。また、最上級生としての希望と目標を立てて6年生前期を過ごしてきた児童が、自分の生活を振り返り、中学校への進学を前にもう一つステップアップするために、自分の将来について考えることは、大変意義のあることです。動画コンテンツは、そのための資料の1つとして活用できます。

1 題材名 「未来の自分と今の自分」

2 題材の目標

- 将来なりたい職業を決めていなくても、まずは自分自身のことを知ることからはじめればよいことに、働くとはどういうことかを考えることを通して気付かせ、今の自分をさらに高めるために挑戦することや改善すること等を意思決定することができる。

3 使用する教材

- (1) 動画コンテンツ : 「おしえてよのなか先生(水永正憲さん)」(9分22秒)
- (2) ワークシート : 学級活動【おしえてよのなか先生】ワークシート

4 キャリア教育の視点で見た前後のつながり

時	主な学習内容	指導・援助の留意点
事前	・より高い目標を立て、希望と勇気を持ち困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くことについて考える。〔道徳〕 「i p s細胞の向こうに」(日本文教出版) 「自分を信じて」(光村出版)	・失敗を重ねながら夢を実現したことに触れ、希望をもつことで困難を乗り越えることができる人間の強さについて考えることができるようにする。
本時	・よのなか先生の動画コンテンツを見聴し、将来のために、挑戦することについて考える。〔特別活動〕	・将来なりたい職業を決めることにとらわれず、自分の幸せや一番大事なことから、どんな自分になりたいかを考えることができるようにする。
事後	・「キャリア・パスポート」を用いて、これまでの学びや成長を振り返る。〔特別活動〕	・自分の将来を踏まえて、学習状況やキャリア形成を振り返り、これからの生活のめあてを立てることにつなげることができるようにする。

5 本時のねらい

- 将来なりたい職業を決めていなくても、まずは自分自身のことを知ることからはじめればよいことに、働くとはどういうことかを考えることを通して気付かせ、今の自分をさらに高めるために挑戦することや改善すること等を意思決定することができる。

6 学習指導過程

過程	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	評価	資料・準備
導入 (7)	<p>1 将来なりたい職業についてのアンケートの結果を知る。</p> <p>2 本時のねらいを知る。</p>	<p>○ 将来なりたい職業を「決めている」「ある程度決めている」「勧められている職業があるが決めていない」「決めていない」等のアンケートを事前にとっておく。</p> <p>○ アンケートの結果をもとに、今の時期に将来なりたい職業を決めていなくても心配しなくてよいことを伝え、温かい雰囲気をつくる。</p> <p> 動画コンテンツの視聴前に、働くことを見つめ直させることで、将来について考えることへの関心を高めることができます。</p> <p>働くことはどういうことかを考え、自分の将来やなりたい自分のために、日常生活でがんばることやよくしたいことを決めよう。</p>		アンケート ワークシート
展開 (30)	<p>3 動画コンテンツ（「多様な仕事・働き方」（4分40秒～7分00秒）」）を視聴する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 働くこと ・ 将来を考えること <p>4 自分の将来やなりたい自分と今について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なりたい自分 ・ 今できること 	<p>○ 働くことや自分の将来を考えることについて、気付いたことや心に残った言葉をメモに取らせる。</p> <p> 「自分の幸せ」や「一番大切なこと」を見つめ直すことが、なりたい自分とつながっていることに気付かせることができます。</p> <p>○ 自分の幸せや一番大切なことから、自分の将来やなりたい自分を考えることができないときには、何が好きか、何ができるかを考えることで自分の将来を考えることにつなげることができるようにアドバイスをする。</p> <p> なりたい自分について決めることが目的ではなく、深く考えることが大切であることを、児童と確認しておくことが大切です。</p> <p>○ マンダラートの真ん中になりたい自分について記入させ、周りにがんばっていることや、さらにチャレンジできそうなことを書かせることで自分の考えを整理しやすくする。</p>		動画コンテンツ ワークシート

	5 班ごとに自分の考えを発表し合う。	○ 他の児童の考えにふれることを通して、自ら考えたことについての整理を促し、自分がやるべきことを明確化させていく。		
まとめ (3)	6 これからの日常生活で、挑戦することや改善することを決める。	○ 無理なく、今、実行できる目標を設定させるようにする。 ○ 決めた目標を伝え合わせることで、これからの活動への意識を高めることができるようにする。	自分の将来やなりたい自分について考えて、今できることを決めることができたか。(観察・ワークシート)	ワークシート

他の活用例

- 6年生進級時、学年はじめの目標を設定する際に、なりたい自分について考えさせるために、動画コンテンツを視聴させてもよいです。
- 5年生においても、児童の実態に応じて同様の指導を行うことも考えられます。
- 参観日の授業において活用することで、家庭におけるキャリア教育につながることも考えられます。